



2022年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月14日

上場会社名 イーソル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4420 URL <https://www.esol.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 勝敏
 問合せ先責任者 (役職名) 社長室長 (氏名) 落合 藤夫 TEL 03-5365-1560
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年12月期第3四半期の連結業績 (2022年1月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|----------------|-------|------|------|-------|------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2022年12月期第3四半期 | 6,536 | △1.7 | △280 | — | △186 | — | △154 | — |
| 2021年12月期第3四半期 | 6,652 | △0.3 | 131 | △67.0 | 379 | △38.1 | 271 | △40.8 |

(注) 包括利益 2022年12月期第3四半期 △185百万円 (—%) 2021年12月期第3四半期 244百万円 (△53.1%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|----------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年12月期第3四半期 | △7.57 | — |
| 2021年12月期第3四半期 | 13.35 | — |

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年12月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。なお、増減率は、当該会計基準等適用前の前年同四半期の数値に基づいて算定しております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|----------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2022年12月期第3四半期 | 7,126 | 5,493 | 77.1 |
| 2021年12月期 | 7,284 | 5,777 | 79.3 |

(参考) 自己資本 2022年12月期第3四半期 5,493百万円 2021年12月期 5,777百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年12月期 | — | 1.50 | — | 4.00 | 5.50 |
| 2022年12月期 | — | 1.50 | — | — | — |
| 2022年12月期(予想) | — | — | — | 4.00 | 5.50 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年12月期の連結業績予想 (2022年1月1日～2022年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|-----|------|---|------|---|---------------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 9,068 | 1.5 | △398 | — | △319 | — | △399 | — | △19.60 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、上記の業績予想は当該会計基準等を適用した後の数値となっております。なお、増減率は、当該会計基準等適用前の前年同四半期の数値に基づいて算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2022年12月期3Q | 21,460,800株 | 2021年12月期 | 21,460,800株 |
| ② 期末自己株式数 | 2022年12月期3Q | 1,076,030株 | 2021年12月期 | 1,097,262株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2022年12月期3Q | 20,375,671株 | 2021年12月期3Q | 20,359,574株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 業績予想 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (追加情報) | 7 |
| (セグメント情報等) | 8 |
| (重要な後発事象) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限の緩和や各種政策の効果等により景気は緩やかに持ち直しているものの、ウクライナ情勢や急速な為替の変動、原材料等の価格の上昇など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの組込みソフトウェア事業がターゲットとして注力している自動車市場では、CASE（Connected つながる車、Autonomous 自動運転、Shared & Service シェアリングサービス、Electric 電動化）と呼ばれる領域が進展しており、同市場は大きな変革期にあります。また、自動車や医療分野を中心に、安全技術への需要が高まっており、機能安全規格の認証取得が求められる傾向にあります。

このような環境の中、当社グループは自動車関連業界をメインターゲットと位置づけ、ワンストップソリューションの提供に注力するとともに、研究開発への投資を引き続き行ってまいりました。また、センシングソリューション事業がメインターゲットの1つとしている食肉市場並びに倉庫・物流業界に対しては、指定伝票発行用車載プリンタ並びにハンディターミナルの拡販を進めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高6,536百万円（前年同期比1.7%減）、研究開発への投資を増加したことにより、営業損失280百万円（前年同期は営業利益131百万円）、NEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）等からの助成金収入91百万円を計上したことにより経常損失186百万円（前年同期は経常利益379百万円）、繰延税金資産の見直しにより法人税等調整額が62百万円減少し、親会社株主に帰属する四半期純損失154百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益271百万円）となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

(組込みソフトウェア事業)

当事業は、幅広い分野における電子機器向けの自社製ソフトウェア製品RTOS（リアルタイム・オペレーティング・システム）の開発・販売、受託開発を主に行っております。その結果、売上高6,279百万円（前年同期比3.4%増）及び研究開発への投資の増加により、セグメント損失149百万円（前年同期はセグメント利益64百万円）となりました。

また、当セグメントの売上高の内訳としては、ソフトウェア製商品は1,534百万円（前年同期比17.8%増）、エンジニアリングサービス等は4,744百万円（同0.5%減）となりました。

(センシングソリューション事業)

当事業は、冷蔵・冷凍食品市場、食肉市場及び物流市場において、車載プリンタやハンディターミナルの販売や、新たなセンサネットワーク関連ビジネスを進めましたが、主に車載プリンタの販売が前年同期比で減少しました。その結果、売上高362百万円（前年同期比33.8%減）及びセグメント損失36百万円（前年同期はセグメント利益22百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は5,869百万円となり、前連結会計年度末に比べて429百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が413百万円減少したことによるものであります。固定資産は1,257百万円となり、前連結会計年度末に比べて271百万円増加いたしました。これは主に投資その他の資産が244百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、7,126百万円となり、前連結会計年度末に比べて157百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,243百万円となり、前連結会計年度末に比べて31百万円増加いたしました。これは主に賞与引当金が184百万円増加した一方、その他の流動負債が139百万円減少したことによるものであります。固定負債は389百万円となり、前連結会計年度末に比べて95百万円増加いたしました。これは主に持分法適用に伴う負債が94百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、1,633百万円となり、前連結会計年度末に比べて127百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は5,493百万円となり、前連結会計年度末に比べて284百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金が266百万円減少したことによるものであります。

(3) 業績予測などの将来予測情報に関する説明

2022年12月期の通期の連結業績予想につきましては、2022年8月10日の「第2四半期連結累計期間業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。詳細につきましては2022年8月10日の「第2四半期連結累計期間業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2021年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日) |
|----------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,015,450 | 3,601,771 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,638,618 | — |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | — | 1,751,505 |
| 有価証券 | 206,614 | — |
| 商品及び製品 | 129,492 | 158,232 |
| 仕掛品 | 64,449 | 137,312 |
| その他 | 244,110 | 220,716 |
| 流動資産合計 | 6,298,737 | 5,869,539 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 256,262 | 270,604 |
| 無形固定資産 | 154,481 | 167,490 |
| 投資その他の資産 | 574,549 | 819,196 |
| 固定資産合計 | 985,292 | 1,257,292 |
| 資産合計 | 7,284,029 | 7,126,831 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 514,427 | 484,660 |
| 未払法人税等 | 23,085 | 39,777 |
| 賞与引当金 | 55,820 | 240,138 |
| 受注損失引当金 | — | 433 |
| その他 | 618,315 | 478,456 |
| 流動負債合計 | 1,211,650 | 1,243,466 |
| 固定負債 | | |
| 資産除去債務 | 101,828 | 102,975 |
| 持分法適用に伴う負債 | 62,591 | 157,446 |
| その他 | 130,198 | 129,406 |
| 固定負債合計 | 294,618 | 389,828 |
| 負債合計 | 1,506,268 | 1,633,295 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,041,818 | 1,041,818 |
| 資本剰余金 | 965,392 | 976,768 |
| 利益剰余金 | 3,700,431 | 3,434,110 |
| 自己株式 | △83,646 | △82,027 |
| 株主資本合計 | 5,623,996 | 5,370,669 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 153,268 | 119,190 |
| 為替換算調整勘定 | 496 | 3,676 |
| その他の包括利益累計額合計 | 153,764 | 122,867 |
| 純資産合計 | 5,777,761 | 5,493,536 |
| 負債純資産合計 | 7,284,029 | 7,126,831 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 6,652,555 | 6,536,296 |
| 売上原価 | 4,516,260 | 4,302,880 |
| 売上総利益 | 2,136,295 | 2,233,415 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,004,628 | 2,514,261 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 131,667 | △280,846 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 33 | 34 |
| 受取配当金 | 5,391 | 5,009 |
| 助成金収入 | 217,627 | 91,661 |
| その他 | 41,134 | 8,062 |
| 営業外収益合計 | 264,187 | 104,767 |
| 営業外費用 | | |
| 為替差損 | — | 3,416 |
| 有価証券運用損 | — | 6,812 |
| 貸借契約解約損 | 16,373 | — |
| その他 | 0 | 1 |
| 営業外費用合計 | 16,373 | 10,230 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 379,480 | △186,308 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 14,559 | — |
| 特別損失合計 | 14,559 | — |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 364,921 | △186,308 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 127,540 | 30,842 |
| 法人税等調整額 | △34,442 | △62,860 |
| 法人税等合計 | 93,098 | △32,018 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 271,822 | △154,290 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | 271,822 | △154,290 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日) |
|-------------------|---|---|
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 271,822 | △154,290 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △27,795 | △34,077 |
| 為替換算調整勘定 | 509 | 3,179 |
| その他の包括利益合計 | △27,285 | △30,897 |
| 四半期包括利益 | 244,537 | △185,187 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 244,537 | △185,187 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

ただし、従前の収益認識の方法から変更はなく、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84号ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しておりますが、当該期首残高に与える影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示しておりました「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準等第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法による組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。

なお、当該会計基準等の適用が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

I. 前第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | 合計 |
|-----------------------|-------------|----------------|-----------|
| | 組込みソフトウェア事業 | センシングソリューション事業 | |
| 売上高 | | | |
| 外部顧客への売上高 | 6,059,878 | 547,377 | 6,607,256 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 10,646 | — | 10,646 |
| 計 | 6,070,525 | 547,377 | 6,617,903 |
| セグメント利益 | 64,056 | 22,311 | 86,368 |

2. 報告セグメント合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 売上高 | 金額 |
|----------------|-----------|
| 報告セグメント計 | 6,617,903 |
| セグメント間取引消去 | △10,646 |
| 未実現利益の調整額 | 45,299 |
| 四半期連結損益計算書の売上高 | 6,652,555 |

(単位:千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|---------|
| 報告セグメント計 | 86,368 |
| 未実現利益の調整額 | 45,299 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 131,667 |

II. 当第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | 合計 |
|-----------------------|-------------|----------------|-----------|
| | 組込みソフトウェア事業 | センシングソリューション事業 | |
| 売上高 | | | |
| 顧客との契約から生じる収益 | 6,268,791 | 362,359 | 6,631,151 |
| ソフトウェア製商品 | 1,534,313 | — | 1,534,313 |
| ハードウェア製商品 | — | 362,359 | 362,359 |
| エンジニアリングサービス | 4,734,478 | — | 4,734,478 |
| その他の収益 | — | — | — |
| 外部顧客への売上高 | 6,268,791 | 362,359 | 6,631,151 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 10,362 | — | 10,362 |
| 計 | 6,279,154 | 362,359 | 6,641,513 |
| セグメント損失(△) | △149,533 | △36,457 | △185,991 |

2. 報告セグメント合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 売上高 | 金額 |
|----------------|-----------|
| 報告セグメント計 | 6,641,513 |
| セグメント間取引消去 | △10,362 |
| 未実現利益の調整額 | △94,855 |
| 四半期連結損益計算書の売上高 | 6,536,296 |

(単位:千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|----------|
| 報告セグメント計 | △185,991 |
| 未実現利益の調整額 | △94,855 |
| 四半期連結損益計算書の営業損失 | △280,846 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。